



百花繚乱

校長 尾崎 淳一

凍えるほど寒い日が続きます。私のような細身の人間には、冷たさが骨の髄まで沁（し）みて辛いです。「真夏の酷暑よりはマシか？」と思うものの、暖かい春が待ち遠しいです。



さて、先日、校長室で会議を開いた際に、用務員さんが梅の枝を生けてくださいました。竜北中学校に咲く梅です。梅の花は早春の訪れを告げるイメージがあったので、もう咲いていることに少し驚きました。暖房の効いた部屋に一日置いたら、みるみる花が開いたことに、生命の力強さを感じました。しかし、暖かい日が続いた後に、この寒さ……。梅の木も戸惑っていることでしょうね。



また、いつも様々な可憐な花を花瓶に生けてくださる「茶華道部」の皆さんから、今回は水仙の花をいただきました。ここにも春を感じることができます。花に添えられたメモには「スイセンの花言葉は『尊敬』です。食べたらだめですよ。いつもありがとうございます。尊敬しています」と記されていました。こちらこそありがとうございます。危うく食べてしまうところでした。水仙の葉は「ニラ」と似ているため、過去にも誤食のケースがあったようです。ただ、水仙の葉には有毒成分が含まれ、食中毒症状を引き起こすそうです。

水仙は英語で [narcissus] と表され、「ナルシスト」の語源とも言われています。ギリシャ神話に逸話があり、興味深いのでぜひ！

「百花繚乱」は様々な花が咲き乱れる様子を表す四字熟語ですが、他に優れた人物や業績などが多く現れるたとえにも使われます。竜北中学校は、素敵な竜北生の活躍に彩られて、一年中「百花繚乱」ですね。「竜北賞」は、「百花繚乱」の竜北生を讃えるものです。



今週、竜北賞を手渡した2名にお願いし、一緒に写真を撮りました。一番左の写真で、左側は校長の尾崎淳一ですので、お間違いなく。中央は、竜北中のマスコットキャラクター「リュッケ」をデザインした「竜北2年生」です。図柄も増えて、来年度の開校50周年でも活躍を期待します。右側は、11日の『皇后盃 第44回全国女子駅伝』で都大路を快走し、3区区間賞に輝いた「竜北2年生」です。「区間賞」「未来くん賞」（参加した中学生の中で、最も活躍した選手1名に贈られる賞）のトロフィーを持たせていただきましたが、力走の重みを感じられました。私に賞状はなく、「竜北ファイル」と写りました。

「百花繚乱」、「よさ」を生かして、自分だけの花を咲かせましょう。「竜北生、G o!!」

20日の「学校説明会」では、久しぶりに校内見学を実施しました。6年生の元気な挨拶や真剣に話を聞く態度は素晴らしく、さすが未来の竜北生と嬉しく思いました。

（令和8年1月23日）